

2024年  
10月9日  
発行

# 城東学園小中一貫校 整備検討委員会だより

発行：掛川市教育委員会

佐東地区  
特別号

## 城東学園 新たな学校づくりに向けた 佐東地区 地域説明会 を開催しました！！

令和6年9月26日(木)午後7時から佐東公民館で「城東学園 新たな学校づくりに向けた佐東地区地域説明会」を開催しました。平日の夜間の開催でしたが、20名の地域の方の出席がありました。

◎地域説明会では以下の5点について説明をしました。(詳しくはホームページでご確認ください。)

### 1. 学校再編、小中一貫校とは？

小中一貫校とは？…小中一貫教育を行っている学校

- ・ 小学校と中学校が目指すべき子ども像を共有。
- ・ 9年間の連続性(系統性)をもった教育課程の編成と実施。

施設分離型小中一貫校



複数の小学校と1つの中学校が離れた場所にある。

施設隣接型小中一貫校



小学校と中学校の校舎が同一敷地内に併設、または隣接した敷地にある。

施設一体型小中一貫校



小学校と中学校が同一の校舎にある。

いずれの形態でも小中一貫教育を行うことは可能ですが、児童・生徒、教職員が日常的に交流が行いやすい形態とすることが望ましいと考えます。掛川市では老朽化した学校施設の再整備を進める中で、小中学校の一貫校化を進めていきます。

このほか、2. 城東学園小中一貫校整備検討委員会、3. 小中一貫校の建設候補地  
4. 公共施設の複合化、5. 開校までのスケジュールと進め方

佐東地区のみなさんから一番ご意見が多かったのは、  
《建設候補地・跡地利用》のことでした。

建設候補地はコスト削減の観点からも、基本的に既存の学校用地で検討をしています。小中一貫校を整備する場合 30,000㎡程度の用地が必要なため、城東中学校敷地、東京女子医科大学跡地を選定。委員より佐東小学校敷地の推薦がありました。跡地利用は、他課での検討も必要ですが、市民の意見を聞きながらの検討となります。

 **皆さんからのご意見** (一部抜粋) 

**Q. 候補地に佐東小学校があるが、土方・中地区でも佐東小学校が良いという意見があったのか。土方・中地区での意見がどのようなものであったか聞きたい。**

A. 候補地については、事務局から城東中学校敷地、東京女子医科大学跡地を候補地とした。検討委員会で各委員に候補地を推薦いただいた結果、佐東小学校敷地が候補に挙がり、候補地として検討している。土方・小学校敷地については候補に挙がっていない。先に説明会を行った土方・中地区では、通学支援について心配される声が多く、通学路をどのように整備するかといった意見が多く聞かれた。

**Q. 建設地が城東中学校敷地の場合は既存の建物を壊しながら進めるのか。壊しながら整備するのであれば、個人的には東京女子医科大学跡地が一番良いと思っている。開業医の高齢化により廃業が進んでいる。佐東小学校の跡地利用については小学校の建物を利用しながら、医療モールとするアイデアがあっても良いのではないか。学校がなくなるからすたれるということより、建物を再利用し、活用することも検討してはどうか。土方・中地区も同様に課題に対してアイデアをだし、同時に考え、まとめて解決する広い視野があっても良いと思う。**

A. 跡地利用について、心配される場所だと思う。中地区コミュニティ防災センターの敷地もかつては中小学校であったように、学校跡地をどのように使用するか意見を聞きながら検討することは重要。開業医が少なくなっている状況からみて、医療モールは良いアイデアだと聞いていた。ぜひ、こうした意見を聞きながら並行して検討していきたい。

**Q. 3カ所の候補があるが、建物を新しく作るということで考えているのか。この築年数のなかで、既存施設を使いながら整備するのか。個人的には、魅力ある学校ということで、しっかり新規で整備することが良いと思う。二つ目は、今後の子供たちの適正の人数について、人口も減ってきている中、城東学園を整備しても他の中学校と統合して一つになるという可能性はないのか。三つ目は、学校を新しく整備したから良いというわけではなく、現計画では1年で周知する計画となっているが、これまでの進捗で大丈夫か。**

A. 基本的には新規の整備を想定しているが、場所によっては比較的新しい施設があるので、これらを改修しながら使うことも考えられる。次いで、適正な規模については、現在0歳児の実数から考えると将来的に城東学園の小中一貫校では35人学級で各学年2クラス編成が可能と想定している。ただ近年、出生率が1,000人を下回っており、母子手帳の交付状況から来年は700人を下回ることが予想される。少子化への歯止めがかからない状況である。最後に、今後のスケジュールについては3月までに決めていきたいが、議論が長引いた場合には4月以降も引き続き検討することも考えられる。その場合は3月には一定のご報告をしていきたい。

**Q. 少子化の問題に対して城東学園という流れだと思うが、少子化の対策を市としてはどのように考えているのか聞かせてもらいたい。**

A. 若者が定住しないことや、晩婚化などの問題があり、これだけという要因はない。このあたりの要因を明確にしながらか検討して対策を講じていく。



◎ **たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。**  
今後の「城東学園小中一貫校整備検討委員会」で地域住民からのご意見として活用させていただきます。

資料は <検討委員会のホームページ> まで！  
下の QR コードからアクセスできます。



**<検討委員会のホームページ>**  
を立ち上げました！ QR コードからアクセスできます➡



**<専用のご意見フォーム>**  
にご意見をお寄せください➡



これから検討委員会の状況は、**各戸配布のおたより**、また**市のHP**でも地域にお知らせをしていきます。今後地域・保護者の皆様への説明会や、児童生徒とのワークショップ等も開催予定のため、是非ご参加ください！

ご意見・ご質問等ございましたら、**掛川市教育委員会 教育政策課 学校再編室**までお問い合わせください。

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1 TEL: 0537-21-1155 FAX: 0537-21-1222